

2022年9月13日

各 位

会 社 名	株式会社ショーケース
代表者名	代表取締役社長 永田 豊志 (コード番号：3909 東証スタンダード)
問合せ先	コーポレート本部長 兼 経営企画部長 兼 人事部長 森 友也 (TEL 03-6866-8555)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月23日に公表いたしました2022年12月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年12月期通期業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,372	百万円 △416	百万円 △416	百万円 △416	円 銭 —
今回修正予想(B)	4,624	△510	△520	△424	—
増減額(B-A)	△1,748	△94	△104	△8	—
増減率(%)	△27.4	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2021年12月期)	1,594	12	77	59	6.98

2. 修正の理由

2022年12月期の連結業績予想につきましては、子会社である日本テレホン株式会社（以下、日本テレホン社という。）の主たる事業分野であるリユースモバイル事業において、世界的な半導体不足と急激な円安進行により、主力商品である高品質なリユースモバイル端末の調達量が減少し、その結果、売上高は前回予想比1,588百万円減少する見込みとなりました。なお、現在では調達方法の見直しを図り、リユースモバイル事業は復調傾向にあります。

一方で、日本テレホン社におきましては、コスト圧縮のため、当社の入居するオフィスに東京本社を移転する施策など費用の抑制に努めております。さらに、年末にかけて、当社と日本テレホン社との共同事業のサービス開始を複数予定しております。日本テレホン社の決算期が異なるため、同社の2022年11～12月の業績は翌期の連結損益に反映され、今期業績に与える影響は軽微と思われませんが、資本業務提携によるシナジー創出を今後も推進してまいります。

また、SaaS 事業におきましては、MRR (Monthly Recurring Revenue、月次経常収益) は計画通りに推移いたしましたが、初期費用の発生するカスタマイズ案件が計画を下回る見込みとなりました。

広告・メディア事業におきましては、今期より新たに展開を開始している一部の金融メディアでの投資の費用対効果が想定を下回る見込みとなりました。

これらの結果、前回の予想値を下回る見通しであることから、上記のとおり業績を修正することといたしました。

(注) なお業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以 上